

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第195号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月27日 08時00分ごろ	
発生場所	阪神港堺泉北区	
事故等調査の経過	平成21年7月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第一宝勢丸、192トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134711、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底擦過傷及びプロペラ3箇所欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、鋼材約600トンを積載し、船首約3.1m、船尾約3.6mの喫水で、阪神港堺泉北区の岸壁へ着岸作業中、平成21年3月27日08時00分ごろ、船底に衝撃を受けた。	
気象・海象	<p>気象：平穏</p> <p>海象：平穏 潮汐 下げ潮の初期</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、浅瀬が存在する岸壁付近で着岸作業中、浅瀬に対する配慮が適切でなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、阪神港堺泉北区において着岸作業中、浅瀬に対する配慮が適切でなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	